

会 議 録

会 議 名	令和元年度第4回小金井市文化財保護審議会（第7期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和2年2月13日（水）午後2時～4時		
開 催 場 所	市役所第二庁舎6階601会議室		
出 席 委 員	二宮委員（会長） 田中委員（副会長） 孤島委員 椎名委員 鈴木委員		
欠 席 委 員	伊藤委員		
事 務 局 員	関生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
	<p>議 題</p> <p>1 文化財説明板の設置について</p> <p>報 告</p> <p>1 文化財センター事業について</p> <p>(1) 文化財講演会</p> <p>(2) 史跡めぐり</p> <p>2 第32回多摩郷土誌フェアについて</p> <p>3 玉川上水・小金井桜整備活用計画について</p> <p>4 古文書講座について</p> <p>5 文化財センター季節展について</p> <p>その他</p> <p>1 小金井市史刊行記念講演会について</p> <p>2 埋蔵文化財担当者連絡会報告会の開催について</p> <p>3 本町六丁目遺跡の活用事業について</p> <p>配付資料</p> <p>資料1 文化財説明板「文政五年庚申塔」</p> <p>資料2 第32回多摩郷土誌フェアについて</p> <p>資料3 玉川上水・小金井桜整備活用計画</p> <p>資料4 古文書講座イベントチラシ</p>		

会 議 結 果

二宮会長 本年度最後の会議をはじめます。よろしく願いいたします。

議 題

1 文化財説明板の設置について

高木主事 貫井北町に所在する庚申塔（現在未指定の文化財）となります。庚申信仰とともに道しるべとしての性格も有する重要性があります。また、市内の中で庚申塔がある貫井北町エリアには文化財説明板が少なく文化財のPRを強化するためにも設置します。説明板につきましては、事前に委員に文案のご確認をお願いしておりました。ご意見をまとめた説明板の文案を読み上げますので、ご意見をいただければと思います。

—文案の読み上げ—

鈴木委員 月輪や日輪、三猿等の読みにくい用語にはルビをつけてください。

田中委員 最近他の自治体の説明板では、縦書きのほかに横書きのものがみられます。小金井市では今後どうしていきますか。

鈴木委員 文化財の表示内容によっては、縦書きが適している場合があるので、適宜、検討してはいかがでしょうか。

高木主事 小金井市内では、これまで縦書きで統一してきましたが、今後の説明板作製時には、横書き案を含めて検討してまいります。

報 告

1 文化財センター事業について

(1) 文化財講演会「はけの住環境—旧中村研一邸と佐藤秀三—」

(2) 史跡めぐり「はけ周辺の文化財」

高木主事 11月17日に文化財講演会「はけの住環境—旧中村研一邸と佐藤秀三—」を行いました。伊藤委員のご紹介で、中村邸の調査に携わった浜定史先生と、栢木まどか先生のお二人に講演をお願いし、登録有形文化財の旧中村研一邸の建築的特徴を中心に、また建築家佐藤秀三や手がけた建築物についてもご説明いただきました。建造物をテーマとした講演会は初めてでしたが、予想以上に参加者の関心が高いことがわかりました。今後のイベントの幅を広げる良い機会となりました。参加者は34名でした。

史跡めぐりについては、健康課が発行する「小金井てくてくマップ」を片手に、市域東部の文化財や史跡を解説しながら案内しました。予定していた11月23日は、あいにくの天候となり中止となり、翌日24日順延で開催いたしました。当初の応募者30人に対して、参加者は10人でした。

2 第32回多摩郷土誌フェアについて

山崎係長 東京都社会教育課長会文化財部会の主催で毎年行われているもので今年度は稲城市が幹事市となり、多摩24市1町の参加で行われました。1月18日、19日の土日の午前10時から17時まで、2日目は13時まででしたが、立川市女性総合センターアイム1階センターギャラリーで各自

治体の郷土史関連の書籍の販売を行いました。入場者数は両日あわせて659人、売上額、小金井市は41,250円、フェア総額は832,520円でした。25市町平均は33,300円でした。ちなみに小金井市は平成30年度28,300円、平成29年度17,600円でしたので、大きな売り上げであったことがわかります。これは新刊の小金井市史の通史編と資料編の購入者が多かったことが要因かと思われます。また、今回は各自治体が販売した書籍リストを参考にお配りしました。ご覧になって興味を持たれた方は是非来年度覗きにきてください。

3 玉川上水・小金井桜整備活用計画について

高木主事 小金井橋～新小金井橋間において、ヤマザクラの補植の場所を確保するため、昨年12月から今年1月にかけて、ケヤキなどの雑木が東京都水道局によって伐採されました。今年度のヤマザクラの補植は26本予定されておりまして、昨日12日より玉川上水堤に植樹が始まっています。また、今年度の補植によって、平成29年度から開始された小金井橋から新小金井橋間の整備区間が完了することとなります。

孤島委員 まだ、着手していないエリアがありますが、来年度の整備事業の予定はありますか。

高木主事 来年度以降は、未整備区間である小金井橋より西側の範囲の補植整備を想定しています。

椎名委員 玉川上水及び小金井桜の整備は、現在は小金井市が率先して進めていますが、広範囲に及ぶ玉川上水を考えると、文化財保護の推進は多摩全体で考えていく問題です。市長会における議論、そして東京都への提言など整備事業には進めていくべき課題があるようにみえます

二宮会長 今後の整備事業の課題として検討をお願いします。続いて報告4についてお願いします。

4 古文書講座について

高木主事 毎年、地域の古い史料をテキストにして古文書講座を開講しております。今回は小金井市史の完成を記念した特別講座に設定いたしました。そのため、例年行っている古文書を読解する形式とは趣向をかえて「小金井市史をよむ」というタイトルを付けまして、資料編や通史編といった小金井の歴史の基礎資料をテキストとして小金井の各時代の歴史を読み解いていくというのが、今回の講座の主旨となります。講座は全部で4回開講いたしまして、講師には部会長を務められました4人の委員をお願いいたしました。2月開講分では、近代編の牛米委員と現代編の中嶋委員に2月22日に行います。3月開講分では、3月8日に根岸委員長による近世編を、3月29日には日高委員の考古中世編を行います。会場は小金井市文化財センターで行います。

5 文化財センター季節展について

高木主事 名勝小金井（サクラ）に関する歴史について紹介する、文化財センター

季節展を例年通り開催します。3月29日～5月31日の期間開催する予定です。季節展準備のため、3月23日～28日は臨時休館となっております。

その他

1 小金井市史刊行記念講演会について

山崎係長 小金井市では平成20年度から約10年にわたり6冊の市史を刊行し、平成30年度末をもって市史編さんに一定の区切りを迎えました。これを記念いたしまして、市史刊行記念講演会を11月2日、宮地楽器小ホールにて開催しました。当日は、大熊教育長がコーディネーターとなり、現代・近代・近世・考古の4人の各専門部会の編集にあられた市史編さん委員の先生方、中嶋委員・牛米委員・根岸委員・日高委員に、各時代の特徴、各時代と現代の小金井とのつながりについて、また、市史編さんのご苦労話や他の自治体史編さんのご経験のある専門の方の視点からの小金井の魅力を熱く語っていただきました。会場スクリーンにて、各パネラーの説明に合わせたスライドを表示し、なごやかな雰囲気の中で参加者の方も興味深そうにスライドの写真に見入り、話に聞き入っていらっしやいました。短時間ながら中身の濃い、充実した時間となったかと思えます。参加者の大半はすでに小金井市史をご購入済みのようなのですが、中にはこちらで設けた書籍販売ブースに立ち寄って購入される方もいらして、この企画の目的の一つである「市史をもう一度手に取って読んでいただくきっかけ」ともなりました。この事業へのご応募は78人、参加者は当日申し込み5人を含む70人でした。

2 埋蔵文化財担当者連絡会報告会の開催について

高木主事 この事業は、東京都市社会教育課長会文化財部会の埋蔵文化財担当者連絡会が主催するものです。今年度は、武蔵野市・小平市及び小金井市の3市が幹事市として運営してまいりまして、この度、3市共同事業という形で報告会開催の運びとなりました。内容は、武蔵野台地に所在する後期旧石器時代の代表的な遺跡について、3市の各担当者が発表者となり、発掘調査の成果を報告します。各市ともに異なる河川が流れており、それぞれ特徴的な遺跡が発見されています。本市は野川、武蔵野市は神田川、小平市は石神井川です。日程は3月22日、会場は武蔵野市武蔵野公会堂内で行われます。事前申込みは不要ですので、どなたでもご参加いただけます。

二宮会長 旧石器時代において各市の流域毎の遺跡は特徴的です。楽しみです。

孤島委員 今後も共同事業を行っていきますか。是非、継続して開催してほしいです。

高木主事 今回限りの開催となります。他市との共同事業については機会があれば検討していきたいと思えます。

3 本町六丁目遺跡の活用事業について

高木主事 本町六丁目遺跡の活用事業についてご説明します。平成29年に、武蔵

小金井駅南口再開発第二地区の建設に伴って行われた発掘調査では様々な成果があがりました。発掘調査の過程で実施された小学生や一般向けの遺跡見学会では、大きな反響があり遺跡に対する市民の関心の高さを知ることができました。調査終了後は、この調査成果を市民に還元すべく遺跡の活用方法を模索してまいりました。次年度には再開発事業が完成することを見据えて、本遺跡の活用事業を進めていく考えを持っております。

次回の会議日程

山崎係長 次年度第1回は、5月20日（水）午前10時から開催となります。

二宮会長 今回の会議をもちまして、田中先生が委員を退任されますので、田中委員から一言いただきたいと思います。

田中委員 — ごあいさつ —

二宮会長 田中委員、長きにわたりありがとうございました。それでは会議を終了します。